

千代田神立ライン運行見直しについて

1. 見直しの概要

■千代田神立ラインは、JR神立駅西口を出発し千代田ショッピングモール、大塚団地等を経由して、JR神立駅東口から土浦協同病院までを結ぶバスとして、かすみがうら市・土浦市の2市補助により令和元年10月に運行開始されました。

運行開始より市内停留所の利用率が低く、運行ルートの一部見直し等実施しましたが、改善が見込めない状況が続いています。

また、移動需要が減少する中、燃料費や原材料費の高騰、不足する運転士の確保に伴う人件費など、運行経費も増加しています。

そのため、デマンド型乗合タクシー等の代替え手段のある千代田神立ラインについては、運行ルートや運行日、運賃の見直しを令和7年7月から予定しています。

2. 運行ルートについて

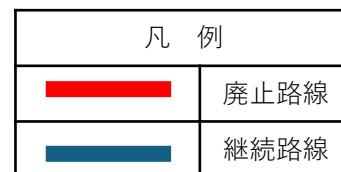
■現在の運行距離12.1kmのうち約60%の7.2kmが市内を循環していますが、市内停留所利用割合は全体の約24%と低く、1便当たりの利用者数についても、0.78人と1人に満たない状況となっています。

停留所別乗降者数（令和6年4月1日～令和6年12月31日）

コース	利用者数	1日当たり 利用者数	1便当たり 利用者数	利用割合
市内循環	3,428人	12.47人	0.78人	24.54%
神立駅東口～ 土浦協同病院	10,542人	38.33人	2.40人	75.46%
計	13,970人	50.80人	3.18人	100.00%

3. 運行ルートについて

18



4. 運行日について

■曜日ごとの利用実績では、平日の利用者が全体の89%となっており、土日の利用者数は11%となっています。利用者数が低調な土日祝日運行を廃止し、燃料費や原材料費の高騰、不足する運転士の確保に伴う人件費などの運行経費の増加を縮減します。

旧

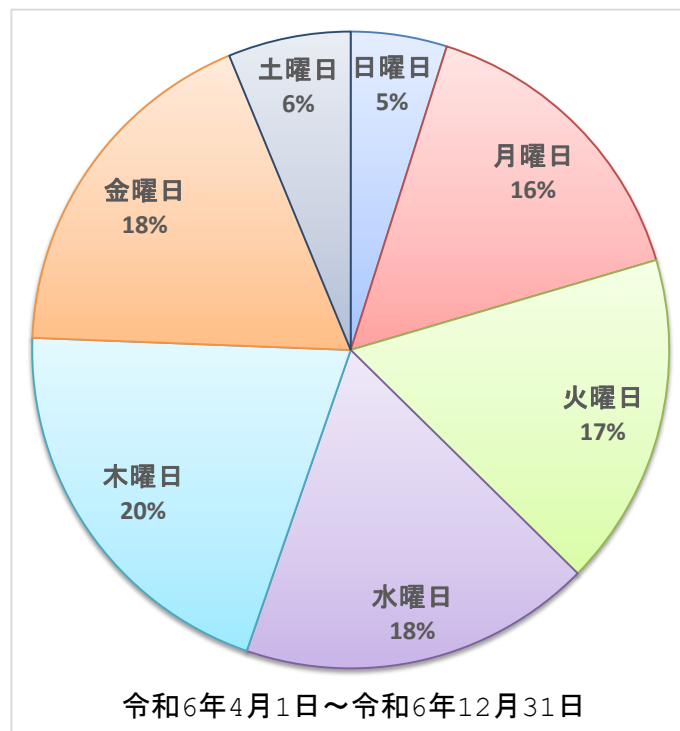
運行日数：365日

運休日：なし

新

運行日数：約240日

運休日：土日祝日及び12月29日
から1月3日



5. 運賃について

■茨城県内の一般路線バスは、移動需要が減少する中、燃料費や原材料費の高騰、不足する運転士の確保に伴う人件費などの運行経費の増加が経営を圧迫しており、経営改善を図るため令和6年3月に運賃引き上げの改定を行いました。

このため、千代田神立ライン運行区間では、一般路線と重複する区間において、運行事業体によって運賃が異なっているため異種運賃を解消します。

○運賃改定表

路線 \ 運賃	現行		改定後	
	千代田神立ライン	一般路線バス	千代田神立ライン	一般路線バス
神立駅東口～白鳥新町	170円	190円	<u>190円</u>	190円
白鳥新町～土浦協同病院	210円	240円	<u>240円</u>	240円
神立駅東口～土浦協同病院	270円	300円	<u>300円</u>	300円